

ステージ通信

Q

vol.11 2006 [冬]

Pre-Stage Voice 1 冬もアツい！ 演劇月間四連発！！

Pre-Stage Voice 2 【スペシャルインタビュー】 山海塾・天児牛大

Resonance in Hibiki Hall 【スペシャルインタビュー】 川久保賜紀 ヴァイオリニスト

Relay Essay ゲルハルト・ボッセ 指揮者

Stage-Preview Program Calendar

Theater Preview
表紙のことば「山海塾」
「遙か彼方からの ひびき を観て描きました。どんな人間にも訪れる『誕生』と『死』。蓮の合間から救いを求める人々の祈りが聞こえるような気がしました。新しい一年がどうか幸多き年でありますように...」
イラストレーター・黒田マリコ

北九州芸術劇場 響ホール
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER HIBIKI HALL



北九州芸術劇場 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

〒803-0812 北九州市小倉北区室町1丁目1-1-11 リバーウォーク北九州6F
TEL093-562-2655 FAX093-562-2526 5F芸術文化情報センター
http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp

〔新幹線〕新幹線小倉駅より西小倉駅へ2分、西小倉駅より徒歩3分
〔空港〕北九州空港よりJR日豊本線下曽根駅経由、西小倉駅まで約25分
〔JR〕小倉駅より徒歩10分、西小倉駅より徒歩3分
〔乗用車〕都市高速道路、小倉駅北ランプから車で5分
*専用の駐車場はございません。リバーウォーク北九州(1時間300円)ほか周辺の駐車場をご利用ください。なお、公演時には劇場ロビーにてリバーウォーク北九州割引駐車券を販売しています。(第2パーキングでは土日祝のみご利用可)



北九州市立 響ホール HIBIKI HALL

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター内
TEL093-662-4010 FAX093-662-0100
http://www.kicpac.org/hibiki/

〔JR〕鹿児島本線八幡駅下車、徒歩約10分。
〔バス〕西本町・八幡駅前下車、徒歩約8分。市立八幡病院前下車、徒歩約5分。
国際村交流センター前下車、徒歩約2分。
〔乗用車〕都市高速道路、大谷ランプから車で10分。



公演情報は...
P.11

私の響ホール室内合奏団への客演は、2003年以来一度目となります。今回演奏する曲は、3人の全く違った時代の作曲家のものです。18世紀のテツァルト、19世紀のチャイコフスキー、そして20世紀のハルツィン。3世紀にわたる時空を越えて、一夜でこの3人の大家たちの作品を聴いていただく趣向です。テツァルトの「アイネクライネ・ナハト・クニ」とチャイコフスキーの「弦楽セレナード」は世界中の音楽ファンに愛されてきた名曲です。響ホールのコンサートにいろいろな皆さんもよくご存知のはずです。アマデウス・ハルツィンの1939年に書かれたヴァイオリン協奏曲は一般的にはあまり知られていない曲と言えます。しかし、作曲から70年近くを経て、年々若い奏者たちが好んでパートリイに取り入れる曲として定着するようになってまいりました。第二次世界大戦直前に書かれたこの曲は、時代の雰囲気をも的確に表現した優れた作品です。ハルツィンは闘い、戦争、死者を悼む気持ちを鋭く、深くとらえ、音楽芸術として形作っています。作曲当時まだ幼かった息子のために書かれています。が、世界にこころもなすり不幸をもたらした戦争の行く末を予感していたのでしようか。この協奏曲は、作品を理解しなければならぬと思わずにひたすら耳を傾けて聴くことに集中していただきたいと思えます。そうすれば、作品が皆さんを深い音楽体験へと導き、感動で満たしてくれることでしょう。澤和樹さんの独奏にもご期待ください。響ホール室内合奏団、会場にいらして下さる皆様との再会を楽しみにいたしております。

Profile ゲルハルト・ボッセ
1922年ドイツ・ヴルツェン生まれ。ライプツィヒ音楽院でダヴィッドン教授に師事。1946年、ワイマール音楽大学に講師として迎えられ、1949年教授に就任。1951年ライプツィヒ音楽院のヴァイオリン教授及びライプツィヒ放送交響楽団第1コンサートマスターに就任。1955年ゲヴァントハウス管弦楽団第1コンサートマスターとなり、同時に同管弦楽団弦楽四重奏第1ヴァイオリン奏者になる。1962年ゲヴァントハウス・パッサ管弦楽団を創立。1980年には霧島国際音楽祭・マスタークラスを創立し、現在も名誉音楽監督、講師、指揮者として活躍。1994年から通算7年東京芸術大学客員教授。1998年、神戸市内合奏団首席指揮者、2000年、同合奏団音楽監督に就任。2000年9月より新日フィル首席客演指揮者、2002年2月、同ミュージック・アドヴァイザーに就任。現在、東京芸大チェンバーオーケストラ指揮者も兼任。

ステージ通信 Q へのご意見・ご感想をお寄せください。
気が付いたらすっかり冬模様。外は寒くても、劇場で舞台や音楽に触れて心身ともにガクガクになってください。劇場および北九州市芸術文化振興財団のホームページから「ステージ通信 Q」アンケートにアクセスできます。「ステージ通信 Q」ではみなさまからのご意見、ご感想をお待ちしています。
〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-1-11 リバーウォーク北九州5階
北九州芸術劇場 芸術文化情報センター Q感想 係 FAX093-562-2526 MAIL: info@kicpac.org



冬もアツい!

演劇月間

四連発!!

戸外では身に沁みる冷たい風が吹いていても、劇場のなかは常夏のごとき熱気にあふれています。暖房のせい? いえいえ、それだけホットな演劇公演が次々に幕を開けるからです。劇団、ユニット、プロデュース公演と形はさまざまでも面白さは、いずれ劣らぬツワモノぞろい。壮大な人間ドラマに人情喜劇、パワフルな青春モノに爆笑コメディ。あらゆる観客のニーズに応える、北九州芸術劇場「冬の演劇月間」はじまります!

撮影/加藤幸広 取材文/尾上そら



撮影:谷古宇正彦

2/4±5日
南河内万歳一座
仮面軍団



2/11±12日
ラッパ屋 第32回公演
あしたのニュース



2/18±19日
AGAPE store #11
BIGGEST BIZ



2/25±26日
クラウディアからの手紙

「ラッパ屋」主宰

鈴木聡

氏インタビュー



九州初上陸!

初めての観客と出会う
地方公演は緊張します

鈴木さん作の「阿国」は劇場柿落としてシリーズのうちの一本でした。「でもそのとき僕は何えず、今夏の『おんなの落語』で初めて北九州芸術劇場さんにお邪魔させて頂きました。まだ新しいのに、観客が自然と集中できる空気があ

る良い劇場ですよ。中劇場で公演をさせて頂いたんですが、客席は700くらいあるのに舞台との距離が近く感じられ、キャストもスタッフもとても気持ち良く芝居ができる劇場だと喜んでいました」

ありがとうございます。劇団「ラッパ屋」としては九州初上陸ですね。「元々うちは地方公演が少ない劇団で、何せ当初は僕も含め劇団員の半分以上が、普段会社に勤めていましたから、東京を離れるのが難しかった。今はそんなことはあ

りませんが。それに東京でのベアスが新宿のシアター・トップスという所で、ここが非常に間口の狭い小劇場なんです。そこに料亭や下町の軒先などのセットを、これでもか! というほどみっちり作り込むのがお約束で、それをそのまま再現できる劇場は他にはあまりない。舞台の間口が広げれば装置も広げなければならず、そうすると、中で会話する人々の距離感が変わり使う言葉も当然変わって来ますよね? それで地方公演の悩みの種でしたが、今度お借りする小劇場は空間を自由に變更えられるので、トップスそのままの空気を再現できるのがうれしいなと思います」

東京を離れた公演では、やはり反応は違いますか?

「反応以前に初めて観て下さる方が多いじゃないですか。俳優や僕の戯曲についての予備知識がない方の前に出るのはいつてもより緊張感がありますね。ちゃんと伝わるか笑いはまれるかどうか怖さと刺激両方を感じます。『おんなの落語』は楽しんで頂けたようにしてほしいんですが、あれも阿国も音楽劇だし…。今回は劇団初のミュージカルにすれば良かったかな、愚痴っぽい人たちがブルースに乗せて歌く『豆腐屋のブルース』とか笑)。最近うちの俳優は、外部でミュージカルに出演する機会が増えているんですよ。

僕自身、5月にミュージカル『最悪の人生のためのガイドブック』を作・演出しましたし

先週の楽しみが増えましたその前に、今回の新作あしたのニュースについて少し伺えますか?

「新聞社の話が……出て来ると思います。会社が舞台になるかどうかはまだ微妙なところ(笑)。ただ、見回してみると、僕たちの周りには実に多彩なニュースがあふれていると思うんですね。経済の仕組み、犯罪、誰そのおめでたや死亡記事、インターネットで検索なんかした日には、たいへんなことになるでしょう。でもそれらに犯濫するニュースの中心がどこで何を根拠に正確かどうか判断したらいいのかわからず、ぱり分からない。その発信元の色々なもの考え方で意見もバラバラ、そのうえ自論をペラペラ喋るような人が集まっているんじゃないかと思ったんです。そんな場所と人を描いてみたいな、と。もっとも、僕が書くものですが、一流の全国紙が登場することはないとと思いますが笑)」

新しい発見のため

劇団での創作が必要

劇団は昨年、20周年を迎えられたそうです。でも、特別な感慨や実感はあり

ませんねえ。何と言うか、僕は気持的にアマチュアなんです。プロだったらもっと早く台本が書けると思う(笑)。いまだに初めて芝居を書いたときのように、いちいち細かいことまで悩んでいます。経験を積み重ねるようになっていこうかなと、思っています。全然できるよ! になりません」

外部への作品提供でも、そのようなですが?

「似たようなものですが、プロデュース公演の場合は先方から希望する方向性や題材、キャストな

どが指定されますから、範囲が絞られている。でもラッパ屋では何をやってもいいわけだから題材を絞るだけでも大変なんです。3年かけると言われれば、かまいません(笑)」

考える時間が楽しい、と。

「ほとんど楽しくないです(笑)。稽古場も大抵は時間がなくて慌てている状態だし、一番楽しいのは執筆中、我ながら良い台詞が書けた! という瞬間ぐらいかな。もちろん幕が開き、お客様がウケて下さったらうれしいけれど」

MEMO

劇団「ラッパ屋」とは



第31回公演「裸でスキップ」(撮影:木村洋一)より
早稲田大学の演劇サークル出身メンバーにより、1983年、作・演出家の鈴木聡を中心に「サラリーマン新劇喇叭屋」を結成。劇団名は団員の多くが会社員であり、また同じ立場の観客にアピールしたいとの願いなどからつけられた。旗揚げ公演は84年の『ジャズと拳銃』。93年より、さらなる認知を求め劇団名を現在の「ラッパ屋」へと分かりやすく改名。下町や会社、競馬場などを舞台に、弱点多い人間味のある人々が織りなす人情喜劇は、老若男女、幅広い観客の支持を得ている。

MEMO

「おんなの落語」



鈴木聡作・演出、木の実ナナ主演
で今年7月に中劇場で上演。『芝浜』など古典落語をベースに、遊女が幸せをつかむまでの波乱万丈な半生を、軽快な歌と芝居でつづる音楽劇。

?!



後藤ひろひと AGAPE store 作家

演出G2と俳優・松尾貴史のユニットAGAPE storeに、作家兼俳優として準レギュラー的に参加している後藤ひろひと、コメディ、ホラー、ファンタジーと自在に作風を変化させる後藤が、「松尾をどげんか面白くできるか」を命題として書き始めた三部作の完結編がこちら。電話番一人だけの幽霊会社を、松尾演じる無責任男の声色芸と、ハッキングや木材の知識(?)という妙な特技で1日にして大会社にしてしまう第一弾『BIG BIZ』から、企業のとりの野望渦巻く『BIGGER BIZ』。そしてニュージャーニーを舞台にケチな強盗が巨大なビジネス・ゲームへと変貌する今作へ、タイトル通りスケールはどんどんアップ。「完結にぶさわしく、演劇史に残るものに笑え」(後藤)という、かけもち本気を感じさせない作家の言葉の真実は、劇場で確かめるしかない!!



「BIGGER BIZ」再演より

後藤ひろひと(ごとうひろひと) 87年遊気舎入団、96年の退団まで座長として活躍。98年演劇集団Piper結成、Piperでの劇作活動以外でも、テレビコプロデュースやG2プロデュースなど多数の舞台で脚本や演出を手掛けている。四ヶ国語を操る俳優としても有名。

AGAPE store #11 BIGGEST BT最後の決戦! ハドソン川を越える - G2

2月18日 土 18:00 演出 松尾貴史、三上市朗、八十田勇一
2月19日 日 14:00 / 中劇場 出演 松永玲子、菅原永二、坂田聡
¥5000 * 全席指定 * 当日 ¥300増 / 篠原ともえ / 栗根まこと、後藤ひろひと

好評発売中 チケットぴあ・Pコード 360-447 ローソンチケット・Lコード 88150

観たい舞台続々登場 作家&演出家が語る 作品のツボ

舞台上でライトを浴びることはないけれど、劇団やユニット、ひいては舞台そのものの魅力の源であり、大事な柱となるのが作家&演出家。インタビュー・ゲストに登場してくれた鈴木氏の「ラッパ屋」に並ぶ3作も、それぞれの作家&演出家を切り口にご紹介しましょう。



鐘下辰男

「クラウディアからの手紙」脚本・演出

太平洋戦争終戦時。一人の男がスパイ容疑の濡れ衣を着せられ、シベリアに抑留された。その後50年、彼を支えたのは遠い故国で待ち続ける女とロシアで新たに結ばれた女、二人の「妻」だった...。主宰する演劇企画集団「THE ガジラ」でも、史実や実際に起きた事件・事故を題材にした硬質な舞台を創り続ける鐘下辰男が、戦争の残酷な面だけでなく、非常時に出会ったからこそ輝いた絆を結び得た男女が、いたことを伝えたいと挑むのが今作。「戦争が題材だからといって重苦しいものではなく、演劇というエンタテインメントとして楽しんで頂ける舞台にと抱負を語り、その一環として振付家・井手茂太によるステージングを演出に加えるとのこと。感動の実話をイメージ豊かに膨らませる両者のコラボレーションは必見だ。

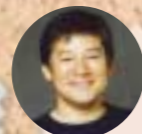


撮影:西村淳

鐘下辰男(かねした たつお) 劇作家、演出家。87年演劇企画集団THE・ガジラ創立。多方面に仕事の幅を広げながら、常に「日本人」を見据えた作品を作り続けている。97年第5回読売演劇賞の大賞・最優秀演出家賞を受賞。

クラウディアからの手紙 「クラウディア奇蹟の愛」(村尾靖子著・海拓舎刊)から
2月25日 土 18:00 音楽 溝口肇
2月26日 日 14:00 / 中劇場 出演 佐々木蔵之介
¥5500 * 全席指定 * 当日 ¥500増 斉藤由貴、高橋恵子 ほか

好評発売中 チケットぴあ・Pコード 360-451 ローソンチケット・Lコード 88154



内藤裕敬

南河内万歳一座・座長(作・演出)

大阪を拠点に、関西演劇界を牽引しつづけている内藤裕敬が、28歳のときに書いた『仮面軍団』。花粉症の青年が、実感の持てない「青春」と「春」という季節に身もたえずという、若さゆえに感じる苦々しさを活写した戯曲を、自身で17年ぶりに再演する。「知性・肉弾戦」が売りの内藤作品では、題材が「青春」でもウジウジはナシ。花見の公園から花粉症研究室、西部劇の酒場、海の家など、怒涛の人力転換でめまぐるしく変わる劇空間に、観客は翻弄され飲み込まれていくのみ。「青春の残酷さを暴力的に伝えたい」という内藤自身も、俳優として出演。さまよえる青春の苦悩と爆発は、頭ではなく、身体で感じるほかない。「あれよあれよという間に観終わり、その後、何となく分かる芝居にしたい」と内藤。この挑戦、受けて立つべし。



撮影:谷古字正彦

内藤裕敬(ないとうひろのり) 劇作家、演出家、俳優。80年南河内万歳一座を旗揚げ、第2回公演以降の全作品作・演出。03年当劇場の初プロデュース作品「大砲の家」(作:泊篤志)の演出も手掛けている。

北九州芸術劇場提携事業 南河内万歳一座「仮面軍団」
2月4日 土 15:00-19:00 出演 河野洋一郎、藤田辰也、三浦隆志
2月5日 日 15:00 / 小劇場 高本章子、前田晃男、安宅慶太
¥3500 * 日時指定・全席自由 林夏樹、重定礼子、内藤裕敬 ほか
* 当日 ¥500増 * 学生(当日のみ) ¥3000

好評発売中 チケットぴあ・Pコード 360-543 ローソンチケット・Lコード 88167



鈴木聡【すずき さとし】 1959年、東京都出身。早稲田大学政治経済学部卒業後、博報堂に入社。演劇活動と並行してコピーライター、クリエイティブディレクターとしてサントリー、味の素、ホンダなどのCMを手掛ける。劇団での主宰・脚本・演出に加え、外部プロデュース作品の作・演出、演劇・映画・テレビドラマの脚本、新作落語執筆など幅広く活躍している。99年にはNHK朝の連続テレビ小説「あすか」の脚本も担当。

「劇団での創作は鈴木さんにして特別なものですか。」
「そうですね...外部での創作が自分の引き出しを100%上手く使い切っているものだとしたらラッパ屋での芝居は何かを発見する場だと思っています。演技の方法、ストーリーの語り方、コミュニケーションの方法、登場人物のパーソナリティの作り方何でもいけれど、何か新しいことをひとつ発見したい。毎回、そういうことを自分に課するのが劇団公演です。でも、回数を経ているだけに、新たな発見は簡単には見つからず、最近はずっとからして雑巾を絞り切るような状況

「長いお付き合いのメンバーでなければとても3編できないでしょうね。」
「それが劇団の良いところ。同じ経験を共有しているから、この前の結果から始められる。今はプロデュース公演が盛んだし、若い人たちも劇団よりも結束の緩いユニット的な感覚で活動している。僕もそのほうがさっぱりしているし合理的だとも思っています。でも、同じメンバーで何度も何年もやって来なければいけないこと、集団ならではの良いこともあると思う。だから僕にとって、劇団は大切な場所なんです。」

「20年で何か変化はありましたか?」
「やはり役者が内外で経験を積んでますから、昔は簡単な設定だけで決めてノリでエチュード(即興的に会話や演技をしていく創作法)をしていましたが、今は話し合いにそれなりに時間をかけてから創り始めます。でも時間をかけた分だけ、作品もタフに練り上がる手応えがありますから、それが成長している部分かなと。何せお互いに手の内は知り尽くしてますから、安易なことをすれば、またアレかよ」と思われてしまう。下手なことはできないんです。だからコメディの稽古場なのに、稽古中ほとんど笑いなんか起きませ

2.11-12

ラッパ屋 第32回公演 あしたのニュース

日本のどこかの小さな町の小さなB級新聞社を舞台に、笑いもドラマもたっぷり盛り込まれるであろうラッパ屋の新作。そこは、世の中で起こるあらゆる出来事の交差点。ぜひご期待ください。

● 2月11日[祝・土] 14:00
2月12日[日] 13:00 / 小劇場
● 作・演出 鈴木聡
● 出演 おかやまはじめ、木村靖司、福本伸一、弘中麻紀、岩橋道子 ほか
● ¥3500 * 全席指定 * 当日 ¥500増 * 未就学児入場不可

好評発売中 チケットぴあ・Pコード 360-448 ローソンチケット・Lコード 88151 PLAY



PROFILE

天児牛大【あまがつ・うしお】49年横須賀市生まれ。75年山海塾創設。『アマガツ頌(77)』『金柑少年(78)』処理場(79)を発表後、80年に初の世界ツアーを行う。81年より、フランスおよびパリ市立劇場を創作の拠点とし、同年アヴィニオン・フェスティバルにて『漢紀』を発表。82年以降、パリ市立劇場では継続して2003年までに10作品を発表。山海塾以外でも活躍する氏は、ダンス作品の演出・振付、国際的な振付コンクールの審査員、近年ではオペラの演出なども手がけている。

山海塾【さんかいじゅく】

75年に主宰・天児牛大によって設立された舞踏カンパニー。80年より海外公演を開始、82年からは世界のコンテンポラリーダンスのメッカであるパリ市立劇場を創作活動の本拠地として、およそ2年に1度のペースで新作を発表しつづけている。82年以降の作品は、すべてパリ市立劇場との共同プロデュース。厳しく作品の質を問う劇場が、連続して共同プロデュース形式で創作を支援しているカンパニーは、世界でもわずかしかが存在しない。



Sankai Juku

『金柑少年』
78年初演された、山海塾の現在につながる記念碑的な作品。05年リ・クリエーション(再創作)され、初演よりソロを踊ってきた天児氏は出演せず、演出・振付に徹する。天児氏の4つのソロパートは、3名の若手舞踏手にゆだねられた。



JACQUES DENARNAUD

『かがみの隠喩の彼方へ かげみ』/00年パリ市立劇場にて初演。北九州芸術劇場では03年10月に中劇場にて上演。

そうするとあのすとパリでは新作、他の土地では旧作を上演するという状態になるわけですが、そこに踊り手として違和感はないのでしょうか、それがあまりないんです笑。という

僕はいずれを 国立劇場 と訳していいんですが、と評されるものに改変されています。それら国立劇場ではすべて自分たちのところではフランス公演を打ち、個々に特色を打ち出している。そつじつにフランスは少なからず他の欧州諸国にもあるので、パリで上演されることにより、フランスの地方地域へ、そして様々な欧州諸国への情報が伝播しオナーがかかると、この流れは今でも続いています。

はわるわけですか。

山海塾は世界中でツアーを行ってききましたが、初めて80年にパリで公演されたときに、他の国々からオナー(公演依頼)はきたのでしょうか。

まずはフランスの地方から依頼がきました。とりわけ、フランスは非常に密にネットワークが構築されているんです。以前、アンドレ・マルルターが国務大臣として、メン・ド・ラウルクール文化の家(というものを提唱して、図書館、映画館、劇場の複合施設を全国に創設)こともあって、まだその志を汲む施設が全国80カ所くらい残っている。今ではそれらの施設は主に、セヌヌ・ナショナル

現在12月中旬のパリでの新作発表に向け稽古を進められている最中です。自分の中でシモンはもう一つの劇は完成しています。ただ稽古というのはそのシモンを実際に身体から表出させるために、何度も反復する場ですか。

自分の頭の中にある方向性をまずトライして、そこで転換が生じた場合、片腕り手とミニシアターとでも直す。それで徐々にちゃんと体感して、身体を作り上げて、舞台と客席の間に何かを生み出します。ただその何かの具体的な受け止め方に関しては、百人いれは百個の見方があっていい。観客が作品と向き合うことでダイナミック(対話)を

僕等は旧作であっても毎年どこかの劇場からオナーがかかっているから、常に踊り続けているんです。ですから20年前に創ったものでも、思考のどこかに張り付いているもののような感覚なんです。ただ『金柑少年』に関しては別です。78年初演して93年まで踊ったのですが、それ以後、自分の体力的な問題でやめた。そして今年になって初めて、若手ソロを分散して委ねる形で再構築してみた。自分が舞台上にあらがらないのは初めての経験でしたが(他者に単純に外的な動作を移すのではなく、内的な感情の動きを振り付けられるように、なかなか上手く仕上がったのではないかと考えています)。

3.11-12

北九州芸術劇場

北九州芸術劇場・
パリ市立劇場・山海塾
共同プロデュース公演

山海塾 新作公演

82年以降、パリ市立劇場との共同プロデュース形式で新作を発表してきた山海塾が、創立30周年の節目に北九州芸術劇場と共同プロデュースする新作。12月にパリで初演、3月に当劇場で凱旋公演を行います。舞踏を「重力との対話」と捉えながら、「誕生」「死」といった普遍的な人間の本質に迫る天児牛大の世界を、ぜひ体感してください。

- 3月11日[土]18:00
- 3月12日[日]14:00/中劇場
- 演出・振付・デザイン 天児牛大
- ¥4500
- *全席指定 *当日¥500増 *未就学児入場不可

1月15日[日]チケット発売開始

チケットぴあ・Pコード **360-452** ロソンチケット・Lコード **88155**

PLAY DANCE PERFORMANCE



Photo by Birgit

『遙か彼方からの ひびき』
98年パリ市立劇場 初演。一面に砂が敷きつめられ、薄明の中で冷たい光を放つ13枚の水盤が置かれた美しい舞台だった。北九州芸術劇場では04年12月中劇場にて上演。



プレステージヴォイス

開演ブザーを待ちながら

北九州芸術劇場・パリ市立劇場・山海塾 共同プロデュース公演

山海塾 新作公演

山海塾 主宰

天児牛大氏

あまがつ うしお

I-N-T-E-R-V-I-E-W [取材・文 岩城京子]

30年以上に渡り世界中に“BUTOH”の名を知らしめてきた山海塾。パリ市立劇場で2年に1度新作発表を行う公演形態は82年より続いており、現在も彼等の美しく幽玄な舞台芸術はフランスを始め世界40カ国の人々を魅了している。そんな山海塾が今年初めて、パリ市立劇場と北九州芸術劇場の三者間プロデュースで公演を創造。演出・振付・デザインを担う天児牛大氏は、新作発表前には通常取材を受けないが、初めて共同プロデュースに参画する北九州芸術劇場のために、異例の事前取材を快諾してくれた。

まず、共同プロデュース に関してですが、天児さんが国内外問わずプロデュースサイトにも求めていることがあれば教えてください。

それは主に「」あります。「は新作を創るにあたっての製作費の助成。音楽も美術も一からオリジナルで創るので、やはりそれなりのバジツト予算が必要なんです。そして今回は新作を劇場で上演することをパリでのールド・ブルミン・ル世界初演を観る前に請け負うこと。これは大変なリスクになるわけですが、反面また観るものを紹介する」という意味では入り口にもなる。共同プロデュースの劇場にはその両面を理解した上で加

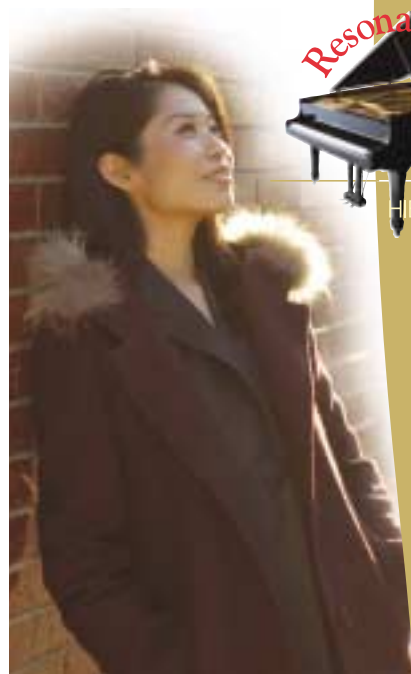
わって頂ければ大変ありがたいと思います。パリ市立劇場との共同プロデュースは現在まで24年も続いています。

それだけ続いているのは山海塾と、あと、ピチ・パワシムくらいでしょうか。でもパリ市立劇場は、フランチャイズ制を持たないので、実は、毎回契約を結び直す形で今まで続いてきているんです。つまり新作発表の期間中に2年後の話をディレクターが持ちかけてくるんですが、それも絶対ではないので、いまだにある種の緊張関係が保たれている。でもそれは僕はずいぶんいいことだと思います。きちんと結果を出すことで初めて次の契約が結

するきっかけになりさえすればいいと思っています。ですから私は新作発表の前には取材で作品解説するのには志しませんが、たいだけをり公演の直前に発表するんです。でないとも見方を限定してしまふことになり兼ねないので、ね

Resonance

in HIBIKI HALL
レゾナンスは響ホール



ヴァイオリンを始めたのは8歳のとき、
教えていただきました。

「ロサンゼルスで近所にあたるスキメントのヴァイオリン教室に通い始めたのが5歳のときです。8歳から習った先生は、できるだけ人前で弾きなさいと、ステージに立機をたててくださるようになってきました。この時の経験が、今に生かされていっています。それからニューヨーク・ジュリアード音楽院のブルカシントン・一年半ほどして五輪まで、さんなどの先生をして有名が、ロンドン・テイレイ先生に習いました。17歳からは日本では極大進さんや庄司紗矢香さんの先生としても有名なザハールンロ先生に習っています。先日、ミラノのコンクールで優勝した岡崎慶輔さんは個人的にすごく知りたいますが、彼も「ロ先生に習ったんです」。

アメリカに住んでいて、ジュリアードに通っていらしたにもかかわらず、ヨーロッパに勉強に行かれたわけですね。

「ロ先生に習うきっかけは、小学校に行く途中、車のラジオで流れていた、キム・エンゲローの演奏に感動して、その日行われた演奏会に出かけて行くことでした。その時、彼が「ロ先生に習ったんです」。

チャイコフスキー国際コンクール
ヴァイオリン部門で最高位を獲得されました。
コンクールの時、怖く感じました。
どうなのかな、心配です。

「実はモイユコン・コンクールの時期が、日本と韓国が主催したワールド・カップの期間と重なっていました。ホテルの外がちょっと広場になっていて、大きなスクリーンで試合がワールドカップの試合を観ることができていました。」

合を見ての場所だったのです。ところが、なんと日本対ロシアの試合でロシアが負けてしまっていて、暴動が起きていて、車が燃えていて、係りの人が外へ出ては行かない！と制止されたのです。歩いて10分の「ソール」会場まで、バスで移動する事態になりましたが、思い出しです。

そのコンクールをきっかけに、活躍の場を世界に広げていってほしいですね。最近の活動は今回の演奏会について、少く聞かせていただけますか。

「指揮者は、ロサンゼルス・シンシニがバフ、トルビシと共演で、最近では下野隆也さんと「オーティンタ」をしています。コンセルトは、オーケストラの指揮者として、イメーションを取り組まれています。最近の活動は、今回の演奏会について、少く聞かせていただけますか。」

「両親は日本人で、アメリカで育ち、ドイツで学び、現在はスイスに住んでいるんです。とても国際的な環境ですが、日本に帰ることが好きです。」

「両親はニューヨークに住んでいますが、九州へは、昨年ラッパに放送交響楽団との共演で行ったことがあつたので、二回目はあります。おかげで、日本に弾く機会が増えています。私自身も、いろいろな勉強をしていっています。来年は、ロンドン・室内楽のコンサートを開くことを考えています。ロ活動だけでなく、いろいろなことをしていきたいです。これからは、ヴァイオリンを完備に弾くことも、自分が音楽の中心にいたいと思っています。また、それが20%達成できたので、自分、偉大な音楽家は、人柄も水も、その人、磨かれていってほしいです。」

2005年11月放送ロサンゼルス

ステージ通信 キュー
北九州市立響ホール



取材・文/石田麻子 昭和音楽大学スラ研究所専任講師

この春、響ホールに、やわらかな若きミュージックがやってくる。

川久保賜紀

川久保賜紀さんは、2002年、チャイコフスキー国際コンクールで最高位に入賞、その実力を世界に評価されています。世界を軽やかに翔けるヴァイオリニストと、フランスのエスプリをピアノで描く横山幸雄さんの、響ホールでの共演が実現します。「自分が音楽の一つになりたい」と語る横顔は美しく輝き、光のきらめきを身にまとっているようです。



川久保賜紀 KAWAKUBO, Tamaki (ヴァイオリン)

2002年6月、第12回チャイコフスキー国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位入賞。(1位なしの2位)同時にロシア作曲家協会による「現代音楽の優れた演奏に対する特別賞」受賞。2001年9月、スペインで第6回サラサテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。5歳の時にロサンゼルスでヴァイオリンを始める。1997年にエヴリー・フィッシャー賞を受賞。2004年出光音楽賞を受賞。これまでにロサンゼルス・フィルをはじめ、ホルティモア交響楽団、サンフランシスコ交響楽団などの北米オーケストラや、F.ルイズ指揮ライプツィヒ放送交響楽団、インバル指揮ベルリン交響楽団との共演や、室内楽・リサイタルなどで、ヨーロッパにおいても活動の場を広げている。



北九州市立 響ホール

2005 響シリーズ第5弾 川久保賜紀・横山幸雄 デュオリサイタル

2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位のヴァイオリニスト川久保賜紀、1990年ショパンコンクール第3位のピアニスト横山幸雄の豪華デュオです。モーツァルト、クライスラーなどの人気曲に加え、横山オリジナルのヴァイオリン・ソナタとバラエティに富んだプログラム。本年度を締めくくる華麗な演奏にご期待ください。

- 3月10日 [金] 19:00 / 響ホール
- 出演 川久保賜紀(ヴァイオリン)、横山幸雄(ピアノ)
- 曲目
クライスラー：ウィーン春想曲 op.2
中国の太鼓 op.3
横山幸雄：ヴァイオリン・ソナタ
モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 第28番 小短調 K.304 (300c)
プロコフィエフ：オペラ「3つのオレンジへの恋」より行進曲
クライスラー：ブニャーニの様式による前奏曲とアレグロ
ドヴォルジャーク：ユーモレスク
- 指定席 ¥ 3500、自由席一般 ¥ 3000、自由席学生 ¥ 1500
* 当日 ¥ 500増

好評発売中
チケットぴあ・Pコード 217-981 ロックチケット・Pコード 84470

MUSIC MUSICAL DANCE PERFORMANCE

響ホール「友の会」
チケット料金割引

how to get the TICKETS

お電話で
お電話でご予約後、店頭でお取りください。

TEL0570-02-9999
(音声自動認識 10:00 - 23:30)

TEL0570-02-9966
(Pコード予約 10:00 - 23:30)

ローソンチケット TEL0570-084-008
(Lコード予約 24時間)

窓口で
下記プレイガイドに直接お越しください。

北九州芸術劇場プレイガイド
チケットお取扱い 10:00 - 19:00

北九州市小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州5F
【問】芸術文化情報センター TEL093-562-2655 (10:00 - 20:00)

響ホール・事務室
チケットお取扱い 9:00 - 17:00

北九州市八幡東区平野1-1-1(国際文化交流センター内)
【問】TEL093-662-401(9:00 - 17:00)

北九州市芸術文化振興財団
チケットお取扱い 9:00 - 17:00(土・日・祝休み)

北九州市八幡東区中央2-1-1 レインボープラザF
*一般発売初日のチケット発売は10:00からです。
【問】TEL093-662-3025(8:30 - 17:00)

チケットぴあ
チケットぴあ店舗
ファミリーマート、セブン-イレブン、サンクス

【問】TEL0570-02-911(10:00 - 21:00)
*コンビニエンスストアをご利用の場合、子ども券のご購入は、お電話などで、ご予約後のお引き換えのみご利用いただけます。

ローソンチケット
ローソン(Loppi ロック)1ダイエー店頭

【問】TEL0570-000-403(音声案内24時間)

インターネットで
下記サイトから申込みください。

北九州芸術劇場
http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp/tguide/main.html
*北九州芸術劇場以外の会場の公演チケットはお買い求めいただけません。

チケットぴあ
http://t.pia.co.jp/kyushu/

公演によっては上記以外のお取り扱いもございます。
北九州芸術劇場チケットクラブへのご入会は劇場プレイガイドにてお申し込み頂けます。(入会金 ¥500 応問合は093-562-8435 チケットクラブ、平日10:00 - 18:00 まで)
響ホール友の会 響の友へのご入会は 響の友 事務局または 響ホール管理事務室にてお申し込み頂けます。
お問合は093-662-3025 (財)北九州芸術文化振興財団内、平日9:00 - 17:00 まで。

5.13-27

北九州市立 響ホール

響ホールフェスティバル2006

新緑の季節とともに、北九州の音楽シーズンの幕開けを告げる「響ホールフェスティバル」。モーツァルト生誕250年の2006年も国内外の一流アーティストたちが一堂に会し、華麗な演奏を披露します。

ウィーン・フィルとベルリン・フィルの首席奏者からなる世界最高の木管アンサンブル

アンサンブル・ウィーン・ベルリン

5月13日 土 J15:00 / 響ホール
出演 アンサンブル・ウィーン・ベルリン
指定席 ¥4000、一般自由席 ¥3500
学生自由席 ¥1500 *当日 ¥500増

ギターと2本の管楽器によるアンサンブル

5月20日 土 J15:00 / 響ホール
出演 福田進一(ギター)
高木綾子(フルート)
広田智之(オーボエ)
古賀修(ギター / 北九州市)
指定席 ¥3500、一般自由席 ¥3000
学生自由席 ¥1500 *当日 ¥500増

ピアノ・クインテットによるモーツァルト・プログラム

5月27日 土 J15:00 / 響ホール
出演 三輪敏(ピアノ)
鈴木理恵子(ヴァイオリン)
小川有紀子(ヴァイオリン)
篠崎友美(ヴァイオリン)
藤森亮(チェロ)
指定席 ¥3500、一般自由席 ¥3000
学生自由席 ¥1500 *当日 ¥500増

3公演 通し券(前売りのみ) 指定席 ¥9500、一般自由席 ¥8000、学生自由席 ¥3500

choice 3.12

九州厚生年金会館

合唱組曲「北九州」演奏会

1978年に北九州市制15周年を記念して作られたふるさと賛歌、合唱組曲「北九州」(栗原一登作詞・團伊玖磨作曲)。今回は第一部に本市出身のソプラノ歌手森野由みを迎えます。

第1部 **森野由み アリアを歌う**
出演 増井信貴(指揮)九州交響楽団 森野由み(ソプラノ)

第2部 **合唱組曲「北九州」演奏会**
出演 増井信貴(指揮)九州交響楽団、北九州をうたう会 市内青少年少女合唱団、小倉祇園太鼓保存振興会

3月12日 日 J15:00 / 九州厚生年金会館 ウェルシティ小倉
一般 ¥2000、学生 ¥1000(小学生 - 大学生) *当日 ¥500増

好評発売中
チケットぴあ:Pコード 216-638 ローションチケット:Lコード 84172

choice

北九州芸術劇場 / 戸畑市民会館

九州交響楽団

2006 北九州ニューイヤーコンサート

1月7日 土 J17:00 / 北九州芸術劇場・大ホール
出演 大町陽一(指揮) 大久保陽子(ソプラノ)
大川信之(テノール)九州交響楽団
曲目 スッペ: 序曲「ウィーンの朝暁晩」
J. シュトラウス II: 「ワルツ」朝刊」op.279 ほか
全席指定 ¥2500(Pコード212-639、Lコード83054)

第39回 北九州定期演奏会

1月26日 木 J19:00 / 戸畑市民会館・大ホール(ウェルとはた内)
出演 小泉和裕(指揮)九州交響楽団
セヴェリン・フォン・エックハルト(ピアノ)
曲目 ベートーヴェン: 「命名祝日」序曲op.115
ピアノ協奏曲 第5番 変奏長調「皇帝」ほか
一般 ¥3500、学生 ¥1500(Pコード212-640、Lコード83055)

好評発売中

1.21

北九州市立 響ホール

2005北九州国際音楽祭 特別プログラム

南紫音

ロン・ティボー国際音楽コンクール 受賞記念リサイタル

2005年、音楽祭デビューした地元在住の南紫音(高1)が、ロン・ティボー国際音楽コンクールで第2位、また最も優秀な演奏者に贈られるセサム賞も受賞という快挙! 音楽祭からまた、世界へ羽ばたく演奏家の誕生です。

1月21日 土 J18:30 / 響ホール
出演 南紫音(ヴァイオリン) 大須賀恵里(ピアノ)
曲目 イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第3番 二短調 op.27-3
ストラヴィンスキー: イタリア組曲 ほか
全席自由、一般 ¥3000、高・大学生 ¥1500、小・中学生 ¥1000
ペア券 ¥5000 *当日 ¥500増 *ペア券は前売のみ
問合 北九州国際音楽祭実行委員会事務局093-663-6567

好評発売中
チケットぴあ:Pコード 217-382 ローションチケット:Lコード 84317

choice 3.5

北九州市立 響ホール

第29回 レディースコーラス フェスティバル

- 3月5日(日)10:00
- 響ホール
- 参加数 約1000人
- 入場無料

choice 4.2

北九州芸術劇場

北九州市ジュニアオーケストラ スプリングコンサート

4月2日 日 J14:00(予定) / 北九州芸術劇場・大ホール
入場無料(要入場整理券) 曲目 「アルルの女」ほか
問合 (財)北九州市芸術文化振興財団 北九州市ジュニアオーケストラ事務局093-583-5282

好評発売中
チケットぴあ:Pコード 212-052 ローションチケット:Lコード 82932

2.12

北九州市立 響ホール

2005響シリーズ第4弾

響ホール室内合奏団コンサート

～巨匠ゲルハルト・ボッセを迎えて～

ヴァイオリンの澤和樹をミュージックアドバイザーに、積極的な演奏活動を行っている響ホール室内合奏団。北九州を代表する若手音楽家集団が、3年ぶりに巨匠ゲルハルト・ボッセを指揮に迎えて、モーツァルト、ハルトマン、チャイコフスキーの世界をお届けします。

2月12日 日 J15:00 / 響ホール
出演 ゲルハルト・ボッセ(指揮) 澤和樹(ヴァイオリン) 響ホール室内合奏団
曲目 モーツァルト: セレナード 第13番ト長調「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」K.525
ハルトマン: ヴァイオリンと弦楽オーケストラのための葬送協奏曲「反ファシズム」
チャイコフスキー: 弦楽合奏のセレナード 八長調 op.48
指定席 ¥3000、一般自由席 ¥2500、学生自由席 ¥1000 *当日 ¥500増 *未就学児入場不可

好評発売中
チケットぴあ:Pコード 214-958 ローションチケット:Lコード 83821

STAGE preview

2.17

北九州市立 響ホール

2005世界のクラシックシリーズ

リトアニア・バルティック室内管弦楽団

「室内楽の神様」名匠ソントツキスが、ハルト三国を代表するオーケストラリトアニア・バルティック室内管弦楽団を指揮、さらに天オトランベッタ、セルゲイ・ナカリャコフをソロに迎え、究極の音色が期待されるクラシックの夕べです。

2月17日 金 J19:00 / 響ホール
出演 サウリユス・ソントツキス(指揮) セルゲイ・ナカリャコフ(トランペット) リトアニア・バルティック室内管弦楽団

曲目
ロッシニ: 6つの四重奏のソナタより 第3番 八長調
ファンメル・トランベツト協奏曲(ナカリャコフ)
アレクスキー: チャイコフスキーの主題による変奏曲
チャイコフスキー: 弦楽セレナード
S席 ¥7000、A席 ¥6000、B席 ¥4000、学生 ¥2000
*当日 ¥500増 *未就学児入場不可

好評発売中
チケットぴあ:Pコード 212-052 ローションチケット:Lコード 82932

5.3-4

北九州芸術劇場

シティボーイズミックス PRESENTS

マンドラゴラの降る沼

今年は5年ぶりの参加となる! どうせ! いうさんとTVドラマでもおなじみ銀粉蝶さんも出演。

5月3日 祝・水 J19:00、5月4日 休・木 J14:00 / 大ホール
作 細川徹、丸二祐亮、シティボーイズ
中村有志、いとうせいこう
構成 いとうせいこう 演出 細川徹
出演 大竹まこと、きたろう、斉木しげる(シティボーイズ)
中村有志、いとうせいこう、銀粉蝶
S席 ¥6500、A席 ¥5500 *全席指定

チケットぴあ:Pコード 366-251 ローションチケット:Lコード 84487

3月4日 土 チケット発売開始

5.19-21

北九州芸術劇場

NYLON100°C 28th SESSION

カラフルメリィでオハヨ

～いつもの軽い致命傷の朝～

ナイロン100 約1年半ぶりの本公演。今回は、ケラリーノ・サンドロヴィッチ自らが「一生に一本しか書けない! 特別な台本」と位置づける私戯曲に、改訂を加えて9年ぶり4回目の上演となります。物語は、海に囲まれた病院からの荒唐無稽な脱走劇と、人生の最期を迎えた老人と彼の家族のスケッチ。2つのドラマが重層的に絡み合うケラリーノ・ワールドに浸ってください!!

5月19日 金 J19:00、5月20日 土 J14:00、5月21日 日 J14:00 / 中劇場
作 演出 ケラリーノ・サンドロヴィッチ ¥4000 *全席指定
出演 みのすけ、犬山イヌコ、三宅弘城、大倉孝二、馬淵英俣可、三上市朗、山崎一 ほか

チケットぴあ:Pコード 360-454 ローションチケット:Lコード 84488

3月19日 日 チケット発売開始

5.24-28

北九州芸術劇場

市村正親 VS 藤原竜也 二人芝居

ライフ・イン・ザ・シアター

芝居好きなら狂喜する夢の顔合わせが実現! 日本を代表する舞台役者中の舞台役者、市村正親と藤原竜也が初顔合わせで二人芝居に挑戦。新日の演技派俳優が、舞台の上でもベテランと若手俳優役を演じるというおもしろさ・ぶつかり合う二人の役者魂が目が離せない、熱い舞台が期待されます。

5月24日 水 J19:00
5月25日 木 J14:00-19:00
5月26日 金 J19:00
5月27日 土 J13:00-18:00
5月28日 日 J13:00 / 中劇場
作 デビッド・マメット
演出 ボール・マリア
出演 市村正親 / 藤原竜也
一般 ¥8000、学生 ¥5000 *全席指定

チケットぴあ:Pコード 366-252 ローションチケット:Lコード 84489

3月26日 日 チケット発売開始

